

# 会報 しんせき 第 67 号

平成30年3月10日

発行責任者

新関コミュニティ協議会  
会長 小島清彦

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)



## 大雪なんのその

3月も半ばとなりました。23年ぶりという豪雪、大寒波も過ぎ去り、このところ一気に雪解けが進んでいます。一時は先も見えないほどの除雪された雪の山、5月になっても残っているのではと心配されましたが。

児童も登下校が大変でした。「安心安全見守り隊員」が、児童の登下校に付き添いました。隊員の皆さんありがとうございました。

その後の「爆弾低気圧」による台風並み（それ以上？）の強風にも驚かされました。各地でトラックの横転、電柱や樹木の倒壊などかなりの被害がありました。

こんな中で、平昌冬季オリンピックでの日本選手の活躍、メダルラッシュに日本中が沸き立ちました。インタビューに答える選手たちは、支えてくれた多くの人たち、チーム、同僚、ライバル、監督コーチへの感謝の言葉を述べていました。また、日本選手のマナー、一緒に戦った外国人選手との美しいシーンが数多くあり世界中に感動を与えてくれました。これこそが本当の「美しい日本の」姿です。パラリンピックも楽しみです。

新関コミセンに飾った「ひな人形」もまもなくひな壇から降り来年を待ちます。

長野県安曇野市の川に飛来した白鳥の数は例年になく多かったとか。新潟が大雪だったためかと報道されました。白鳥も旅支度。春は確実に近づいています。

「第1回健康・自立セミナー」を最後に今年度の事業がすべて終了しました。

これまでのご協力ご支援に感謝申し上げます。



冬季オリンピック日本選手

寒波吹き飛ばす



コミセンに温もり

ボランティアさんによるおひなさまの飾りつけ



岡田・大関付近

冬の使者もまもなく旅立ち

確かな**春の足音**が  
聞こえてきました

(平成29年**第1回**3月3日)

# 新潟薬科大学薬学部学生による 健康・自立セミナー 開催される

「糖尿病」「脂質異常症」の予防や治療について  
体験学習コーナー 漢方薬「芍薬甘草湯」について

当日は、新潟薬科大学の先生2名・ 学生さん11名・ 地域住民49名

大学側の方針とのことで、準備などの会場設営はすべて学生さんがやってくれました。

小島コミ協会長歓迎の挨拶後、大学の先生方や学生さんの自己紹介からセミナー開始。参加者は自分の子供や孫のような若い学生さんの自己紹介に心ときめき、これだけで元気をもらったようでした。

セミナーは、今回のテーマである糖尿病の原因や予防について資料や映像を交えながら学生さんが発表、そこに先生方の講話や補足説明がなされるなど大変わかりやすいものでした。

たくさんの方から質問があり、それに対してまず学生さんが答える、さらに先生方が補足されるという一歩通行にならないやり取りで感銘を受けました。

最後にアンケート用紙に記入。学生さん全員が受講者の席を回り語りかけてくれました。



## 受講者(参加者)の声

- 学生さんから来ていただき大変うれしかった。元気をもらえた。
- 大変わかりやすかった。
- 自分も糖尿病を患っているが、主治医の話より説得力があった。
- 大変いい企画だった。次回もぜひ参加したいなど、たくさんの声が寄せられました。



今後の予定 第2回⇒6月 第3回⇒10月 第4回⇒3月 その都度ご案内します。

新関コミ協は、地元新潟薬科大学との連携交流の場がこの度実現しました。大学や秋葉区地域課などのご理解とご支援のおかげであり、感謝申し上げます。

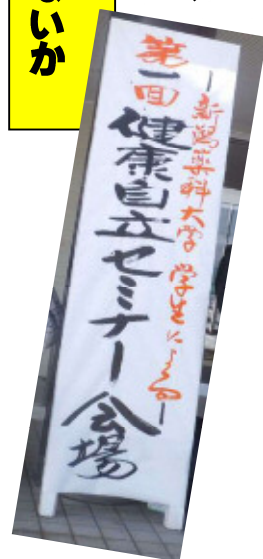
大学の先生によりますと、学生が大学で学んだことを地域に出て語り地域住民と交流する、その中でさらに学びを確かめ深める、この経験がいずれ実社会に出た時に必ず役立つ、という大学の教

育方針とのことでした。私たちはこれからたくさん学ばせていただきます。同時に、少しでも学生さんたちのお役に立てればと思います。次回が楽しみです。

学問を志す友たちが、遠いところからやってくる来て共に学び合う なんと楽しいことではないか

# 有朋自遠方来 不亦楽乎

論語より



# 今年度の活動 写真で振り返る



今年度も恒例の事業は新鮮味を加え、さらに新規の事業も取り入れて活動してきました。  
こうして主な写真を並べてみると沢山の事業がありました。皆様のおかげで無事終えることができました。感謝申し上げます。



包括支援センター 本間さん  
吉川さん



健康福祉課 根岸さん  
安達さん



社会福祉協議会 池田さん 大泉さん

お茶の間  
訪問

# 「お茶の間」を核とした

# 支え合いのしくみづくりに向けて

お年寄り世帯が多くなった昨今、今冬の豪雪と寒波で、地域の支え合いのあり方が一段とクローズアップされてきました。新関コミ協はこれまでのお茶の間を見直し、より身近な地元（自治会内）での開催に移行しようと取り組んできました。



六郷のお茶の間



小口のお茶の間

7月には、秋葉区社会福祉協議会の皆さんをお招きし「今なぜ支え合いなのか」の講話をいただき、その後自治会役員の皆さんでワークショップを行いました。この度は、すでにお茶の間を立ち上げてある六郷と小口を訪問。

六郷では手品を小口では健康操を見学させていただきました。また、お茶を飲みながら皆さんと談笑する中で、課題や要望などをお聞きすることができました。行政や関係者の協力を得て、今後も引き続き地域に出かける機会を作りたいと思います。気軽に声がください。



## 見事な六送会 五年生を中心に 下級生が感謝の集い



今年も素晴らしい六送会をみせてもらいました。児童の暖かい心・優しい心・感謝の心 が存分に伝わってきました。

最後は6年生を囲み、在校生・先生方・保護者みんな涙、涙、涙。

新関小児童は、心も健全に育っています。

あれから7年

東日本大震災忘れてはいけません

次年度も自主防災事業を推進します。

### 4月当初の予定

- 4月15日(日) 新関地区自治会総会
- 4月18日(水) コミ協安心安全見守り隊出発式
- 4月27日(金) コミ協代議員会